



舞鶴市立明倫小学校
令和6年10月31日



「支えがあつての教育活動」

つい先日までの暑さを遠い昔のことのよう感じながら、気が付けば季節は秋本番を迎え、そして冬へと移り変わっていきます。本当に早いものです。登校時、澄んだ秋の空気に後押しされるように気持ちのよいあいさつをする子どもたちに元気をもらいながら、1日がスタートしています。

10月12日(土)は秋晴れの下、たくさんの保護者、ご家族、そして地域の皆様の声援を背に、運動会が実施できました。9月は特に猛暑が続く中で、熱中症対策を講じながら、子どもたちは汗びっしょりになって練習を積み重ね、集団演技では低・中・高学年それぞれ学年に合った表現を見せてくれました。特に今回初めて取り入れた全校演技「なかよし明倫ソーラン」は、異年齢集団活動(たなべ班活動)として12班に分かれ、6年生が中心となり、自分たちで考えながら、いきいきタイム(業間休み)を使って下級生に踊り方を教えてきました。また、下級生も6年生からしっかり学びながら練習してきました。当日は全校のみんなの気持ちが「もろとも」積み上げた全身で表現する姿と、運動場に響き渡る掛け声に表れているようでした。

また、10月29日(火)には、前日の雨と午後からの雨予報で天候が心配されましたが、マラソン大会も順延することなく実施できました。運動会が終わってから体育の時間だけでなく、いきいきタイムでマラソン練習を積み重ね、「今日は9周走った。」「初めて10周走れた。」「この前よりたくさん走れた。」などなど、息を弾ませながら報告してくれる子がたくさんいました。こうして練習を重ねることで自分が少しずつ自信を付け当日を迎えました。結果として順位を出していますが、大事なことは自分の目標を持って、途中くじけそうになってもゴールを目指し最後まで走り切ることが大切です。それを成し遂げようと真剣に取り組む一人一人の姿に感動しました。

運動会、そしてマラソン大会において、準備・後片付け、走路員としての誘導等、お手伝いいただいたPTA本部役員の方々、たくさんのボランティアの皆様をはじめ、保護者、地域の皆様のご理解・ご協力のおかげで無事終えることができました。

子どもたちが充実した学校生活を送っているのは、こうした教育活動に関わっていただける保護者のお手伝いや応援、ご家庭での励ましがあるからだと思えます。そのことが子どものやる気となり、日々の前向きな姿勢に結び付いているように思います。本当に支えていただきありがとうございます。

学校はスポーツの秋から、芸術(音楽)の秋へと移り、今月11月6日(水)には、音楽集会を開催します。今、学年ごとの練習に取り組んでおり、歌声や合奏の音色が校舎に響いています。

こうしたたくさんの行事や取組に対して、ご家庭や地域の皆様から励ましのお声掛けで、これからも支えていただけると嬉しいです。引き続きよろしくお願ひいたします。



校長 井上 啓

10/29 マラソン大会

